

# 多様な性を生きる人々への発達の観点からの支援



【池袋キャンパス】健康メディカル学部 心理学科 准教授

莊島 幸子 Shojima Sachiko

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : SOGI・性的マイノリティ (LGBT)・ナラティブ質的研究



## 研究の概要

SDGs 目標 3: すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 5: ジェンダー平等を実現しよう

近年、我が国においてもレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなど、性的指向や性自認が多様である人々の社会的認知が進んでいる。複数の自治体がパートナーシップ制度を確立し、トランスジェンダーの女子学生の受け入れを認める女子大学も出るなど、徐々に社会的承認が得られるようになってきている反面で、彼らに対する差別や偏見は根深く残っており、性的にマイノリティな青年はいまだに生きづらい現状にある。彼らは 10 代から 20 代前半にかけて自身の性的アイデンティティの気づきと混乱を経験し、いじめ被害や不登校の経験率、自殺未遂率が高いことが報告されている（針間・平田，2018）。

本研究では性的指向や性同一性が多様な人々に縦断的なインタビューをおこない、自己形成の過程やその揺らぎ、親密な他者との関係性の構築、人生の意味づけをナラティブアナリシスの方法を用いて記述してきた。また、当事者を取り巻く身近な他者であるご家族や学校教員にもインタビューをおこなっており、当事者との間で起きるコミュニケーションのすれ違い、支援の難しさについても検討をおこなった。

性同一性障害／性別違和を抱える児童・生徒を取り巻く学校環境の実態把握



当事者と教員間における  
二者コミュニケーション・モデルの構築

当事者－保護者－教員間における  
三者コミュニケーション・モデルの構築



3者間コミュニケーション  
モデルの構築



当事者－他生徒間における集団  
コミュニケーション・モデルの構築

## 実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

本研究は、ダイバーシティ促進において重要な役割を担っていると考えられる。わが国では、経済産業省を中心に「ダイバーシティ経営」の観点から、多様な人材を、性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観などの多様性だけでなく、キャリアや経験、働き方などの多様性を含むものとして定義されている。認知的に多様性を理解することだけでなく、多様性から新たな見えや解釈、価値や意味を全体的に生み出していくことが必要である。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【学会発表】・「Developmental Process of Assimilating Information on Sexuality and Forming Friendly Attitudes: Based on Interviews with University Students」

・「Development of the relationship between parents and their children who are sexual minorities: Negative emotions and perceptions after the children come out」

【科研費】 基盤研究 (C) 「性の多様性をめぐる対話的關係の形成を目指したゲーミング教材の開発と実践」